

別表(1)

## 教育課程及び授業日時数

インテリアデザイン科

課 程			専 門 課 程			単 位 表 示			
学 科			インテリアデザイン科						
科 目			第1学年	第2学年	第3学年	第1学年	第2学年	第3学年	
一 般 科 目	1	コミュニケーション活動Ⅰ	60			2			
	2	コミュニケーション活動Ⅱ		60			2		
	3	コミュニケーション活動Ⅲ			60			2	
専 門 科 目	4	立 体 構 成	30			1			
	5	インテリアスケッチ	60			2			
	6	色 彩 学	60			2			
	7	デ ザ イ ン 史	30			1			
	8	表現演習Ⅰ(図学)	120			4			
	9	表現演習Ⅱ(図学)		90			3		
	10	造形演習(構造力学)		90			3		
	11	素材演習Ⅰ(建築材料)	120			4			
	12	素材演習Ⅱ(建築材料)		120			4		
	13	CAD・CGデザインⅠ(基礎製図)	180			6			
	14	CAD・CGデザインⅡ(基礎製図)		120			4		
	15	CAD・CGデザインⅢ(基礎製図)			90			3	
	16	デザインⅠA(設計製図)	120			4			
	17	デザインⅠB(環境工学)	120			4			
	18	デザインⅡA(設計製図)		180			6		
	19	デザインⅡB(一般構造)		120			4		
	20	デ ザ イ ン Ⅲ			60			2	
	21	空間デザインA(建築法規)		30				1	
	22	空間デザインB(建築生産)		30				1	
	23	空間デザインC(建築設備)			30			1	
	24	ポートフォリオ制作			30			1	
	25	プレゼンテーション技法			30			1	
	26	卒業制作(建築計画)			570			19	
	特 別 科 目	27	キャリアプランⅠ	30			1		
		28	キャリアプランⅡ		30			1	
		29	キャリアプランⅢ			30			1
30		産学連携プロジェクトⅠ	60			2			
31		産学連携プロジェクトⅡ		30			1		
32		産学連携プロジェクトⅢ		30			1		
33		産学連携プロジェクトⅣ			60			2	
34		研 修 旅 行		60				2	
35		ボランティア活動Ⅰ		60				2	
36		ボランティア活動Ⅱ			60			2	
37		インターンシップⅠ		60				2	
38		インターンシップⅡ			60			2	
39		チャレンジプログラムⅠ	30			1			
40		チャレンジプログラムⅡ		30				1	
41		チャレンジプログラムⅢ		30				1	
42	チャレンジプログラムⅣ			30			1		
43	チャレンジプログラムⅤ			30			1		
単 位 合 計 数						33	33	32	
年 間 履 修 時 間 数			990	990	960				
年 間 授 業 日 数			180	180	180				

注) 選択科目は2年次において60時間以上履修しなければならない

シラバス(授業概要)				年度		
				2020年度		
				科目コード		
時間数は45分換算						
授業科目名			授業形態		学科・コース	
コミュニケーション活動Ⅱ			演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	60	2	岩崎 京子 泊 真吾	
授業の目的・目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>あらゆる活動を通して学科単位、クラス単位、学校単位でコミュニケーションを図る。</li> <li>建築設備の用語、各設備の方式の概要、特徴を理解する。</li> <li>設備計画の法令等を理解する。</li> <li>建築全体の省エネルギー対策で、設備が必要とされることを理解する。</li> </ul>						
授業の概要						
<ul style="list-style-type: none"> <li>主に学校行事を行う活動授業。</li> <li>建築物の設備内容が理解で出来る。</li> <li>現場に於いて他の計画に対して速やかに判断出来る知識、能力を身に付ける。</li> <li>建築物、環境に対しての省エネ、環境問題に対して対応できる。</li> </ul>						
成績評価の方法						
1. 平常点 (主体的な授業参加度)				平常点	20%	
2. 学習意欲 (授業の取り組む姿勢)				学習意欲	50%	
3. 筆記試験				筆記試験	30%	
使用テキスト・教材						
主なテキストは世界で一番やさしい建築設備本を使用						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	始業式		2	16.	設備とは、設備の種類、必要性	2
2.	終業式		2	17.	給水の仕組み、種類と特徴	2
3.	球技大会		2	18.	給湯方式の仕組み、特徴、熱源	2
4.	東京研修		2	19.	排水管、トラップ、浄化槽	2
5.	東京研修		2	20.	冷暖房方式、省エネルギー	2
6.	東京研修		2	21.	換気設備、方式、必要性、種類	2
7.	東京研修		2	22.	住宅の電気設備、他との違い	2
8.	卒業制作展視察		2	23.	受電、分電盤、回路分け	2
9.	卒業制作展視察		2	24.	電気使用設備、家電、特徴	2
10.	卒業制作展視察		2	25.	弱电設備、ホームオートメーション	2
11.	卒業制作展視察		2	26.	自然エネルギーの利用設備	2
12.	他、学校行事、学科活動		2	27.	給排水設備図を読む、書く	2
13.	他、学校行事、学科活動		2	28.	電気設備図を読む、書く	2
14.	他、学校行事、学科活動		2	29.	筆記試験	2
15.	他、学校行事、学科活動		2	30.	筆記試験結果から補足授業	2
その他			関連科目			

シラバス(授業概要)			年度	2020年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
表現演習Ⅱ(図学)①			演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	90	3	辻 雄貴 小林 良行	
授業の目的・目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分の素材」をみつけ、理論的かつ実践的な「空間造形力」を身につける。</li> <li>・巨匠たち、個々の作品デザインの映像(DVD)をみて、興味を持ち調べる。レポートにすることで知識を得ることができる。</li> </ul>						
授業の概要						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に学校行事を行う活動授業。</li> <li>・建築物の設備内容が理解で出来る。</li> <li>・現場に於いて他の計画に対して速やかに判断出来る知識、能力を身に付ける。</li> <li>・建築物、環境に対しての省エネ、環境問題に対して対応できる。</li> </ul>						
成績評価の方法						
1. 自己表現、自然の魅力の捉え方、プレゼンテーション力					課題	50%
2. 課題(提出率と提出された課題の完成度)					平常点	20%
3. 平常点(主体的な授業参加度)					学習意欲	30%
4. 学習意欲(学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢)						
使用テキスト・教材						
レポート(A4)は1枚以上。1枚目は必ず手描きとし、2枚目からはパソコン使用可とする。パソコンによる文章のコピー&ペーストは禁止。画像を貼り付ける場合は全体の20%以下とし文章は80%以上とする。調べたこと以外に感想は必ず入れ、文章の内容、量が少ない場合は再提出となります。						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	オリエンテーション/表現力を身につけるために	2	16.	安藤忠雄	2	2
2.	植物のこと。自然のこと	2	17.	ガウディ	2	2
3.	建築のこと	2	18.	マッキントッシュ	2	2
4.	空間のこと	2	19.	リートフェルト	2	2
5.	アウトプット①	2	20.	カルダー、イサム・ノグチ	2	2
6.	アウトプット②	2	21.	F・L・ライト	2	2
7.	環境のこと、舞台美術のこと	2	22.	ル・コルビュジェ	2	2
8.	アウトプット③	2	23.	ミース・ファン・デル・ローエ	2	2
9.	アウトプット④	2	24.	アアルト、ヤコブセン	2	2
10.	素材のこと	2	25.	倉俣史朗	2	2
11.	「空間に生命力を与えるための彫刻をつくる」①	2	26.	深澤直人	2	2
12.	「空間に生命力を与えるための彫刻をつくる」②	2	27.	片山正通	2	2
13.	「空間に生命力を与えるための彫刻をつくる」③	2	28.	団塚栄喜	2	2
14.	「空間に生命力を与えるための彫刻をつくる」④	2	29.	奥山清行	2	2
15.	「空間に生命力を与えるための彫刻をつくる」⑤ 全体講評	2	30.	感想/マイベスト5	2	2
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。						

シラバス(授業概要)				年度	2020年度	
				科目コード		
授業科目名			授業形態	学科・コース		
表現演習Ⅱ(図学)②			演習	インテリアデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	90	3	本野 智美 萩原 一浩	
授業の目的・目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・PCを使用した、更なるグラフィックデザイン応用力の習得。</li> <li>・自分の作品をより綺麗に撮影する技術を学び、就活に活用するポートフォリオに活用する。</li> </ul>						
授業の概要						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に学校行事を行う活動授業。</li> <li>・建築物の設備内容が理解で出来る。</li> <li>・現場に於いて他の計画に対して速やかに判断出来る知識、能力を身に付ける。</li> <li>・建築物、環境に対しての省エネ、環境問題に対して対応できる。</li> </ul>						
成績評価の方法						
授業への取り組みの真剣度と最終提出物での評価					課題	50%
					平常点	20%
					学習意欲	30%
使用テキスト・教材						
プリント配布						
授業内容・授業計画						
						時間数
1. 課題オリエンテーション						2
2. 撮影素材の確認						2
3. 企画案のアイデア出し						2
4. ラフスケッチチェック						2
5. 制作～随時チェック						2
6. 制作～随時チェック						2
7. 中間チェック～レイアウトの修正及びデザインの方向性の確認						2
8. 中間チェック～レイアウトの修正及びデザインの方向性の確認						2
9. 修正～完成度を上げるブラッシュアップ～最終提出						2
10. 修正～完成度を上げるブラッシュアップ～最終提出						2
11. 絞り,シャッタースピード,ISOの配列及び関係性を再度復習～理解						2
12. 外部の建物へロケーション撮影=室内を水平及び垂直に撮影する						2
13. 外部の建物へロケーション撮影=室内を水平及び垂直に撮影する						2
14. 自分の作品の特徴を活かし,判り易くスタジオで定常光を使い撮影						2
15. 自分の作品の特徴を活かし,判り易くスタジオで定常光を使い撮影						2
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。			平面構成Ⅰ デザインアプリケーションⅠⅡ			

シラバス(授業概要)				年度	2020年度	
				科目コード		
授業科目名			授業形態	学科・コース		
造形演習 (構造力学) ①			演習	インテリアデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	90	3	伊達 剛	
授業の目的・目標						
<p>素材の特徴をとらえたうえで、チカラの流れとカタチの関係を考え、自ら模型をつくることで構造についての理解を深めることで、素材の特徴と力の流れを理解しカタチとの関係性を考えることで、デザイン力を向上させることができるようになる。</p>						
授業の概要						
<ul style="list-style-type: none"> <li>主に学校行事を行う活動授業。</li> <li>建築物の設備内容が理解で出来る。</li> <li>現場に於いて他の計画に対して速やかに判断出来る知識、能力を身に付ける。</li> <li>建築物、環境に対しての省エネ、環境問題に対して対応できる。</li> </ul>						
成績評価の方法						
1. 課題 (提出率と提出された課題の完成度)				課 題	50%	
2. 平常点 (主体的な授業参加度)				平 常 点	30%	
3. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢)				学 習 意 欲	20%	
4. プレゼンテーション (企画発表の内容と表現)						
使用テキスト・教材						
必要に応じてプリント配布						
授業内容・授業計画						
						時間数
1. チカラについて考える(自然界のカタチについて)						2
2. 構造をデザインする (テンセグリティ 1)						2
3. 構造をデザインする (テンセグリティ 2)						2
4. 引張力と圧縮力の関係						2
5. 歴史的建造物から構造を学ぶ						2
6. カタチと力について考える 1						2
7. 構造からデザインを考える (課題取組 1)						2
8. 構造からデザインを考える (課題取組 1)						2
9. カタチと力について考える 2						2
10. 構造からデザインを考える (課題取組 2)						2
11. 構造からデザインを考える (課題取組 2)						2
12. カタチと力について考える 3						2
13. 構造からデザインを考える (課題取組 3)						2
14. 構造からデザインを考える (課題取組 3)						2
15. まとめ						2
その他			関連科目			

シラバス(授業概要)			年度	2020年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
造形演習 (構造力学) ②			演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	90	3	土屋 香美 川松 夕見子	
授業の目的・目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>モノのデザインだけでなく、「ライフスタイルの提案」シートを作成、発表する。実際の学科の活動で、この授業の学びの活かし方を考える。</li> <li>社会との接点を意識し、その動向や消費者ニーズなどマーケット感覚を持ち、グループワークにより、共通の目標に向け各自役割を持って協力し合えること。</li> <li>ビジネスの基本要素を理解し、その中で商品やデザインの役割を理解し、これらを企画書としてまとめ、プレゼンできること。</li> </ul>						
授業の概要						
<ul style="list-style-type: none"> <li>主に学校行事を行う活動授業。</li> <li>建築物の設備内容が理解で出来る。</li> <li>現場に於いて他の計画に対して速やかに判断出来る知識、能力を身に付ける。</li> <li>建築物、環境に対しての省エネ、環境問題に対して対応できる。</li> </ul>						
成績評価の方法						
1. 課題 (提出率と提出された課題の完成度)					課題	50%
2. 平常点 (主体的な授業参加度)					平常点	30%
3. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢)					学習意欲	20%
4. プレゼンテーション (企画発表の内容と表現)						
使用テキスト・教材						
必要に応じてプリント配布						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	目的を明確にする(自分のなりたい姿を明確化)		2	16.	ビジネスプランコンテスト概要	2
2.	目的を明確にする(デザイン開発の目的を明確化)		2	17.	情報収集、課題設定、調査準備	4
3.	市場変化とユーザーの暮らしを考察		2	18.	リサーチ実施	4
4.	市場変化とユーザーの暮らしを分析		2	19.	リサーチ結果まとめ	4
5.	市場トレンドとライフスタイル提案 - モノ/コトをデザイン		2	20.	具体案検討、詳細計画	4
6.	講座概要、ウォーミングアップ		2	21.	資金/収支計画	4
7.	アイデア出し		2	22.	全体まとめ、プレゼン準備	4
8.	現状分析と仮説作り		2	23.	最終プレゼンテーション	4
9.	マーケティングリサーチ		2	24.		
10.	ターゲット設定		2	25.		
11.	ポジショニング		2	26.		
12.	ブランディング		2	27.		
13.	コンセプト作り		2	28.		
14.	企画書の構成と表現手法		2	29.		
15.	企画書作成		2	30.		
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。						

シラバス(授業概要)				年度	2020年度
時間数は45分換算				科目コード	
				授業科目名	
素材演習Ⅱ(建築材料)①		演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	120	4	小沼 勝也 宮沢 千夏子 繁田 和美 藤田 友子
授業の目的・目標					
<p>産学連携を主体とし、与えられた案件のインテリアプランや各所デザインができる。          要望をしっかりと聞き取り、マテリアルプラン、照明プランなど、インテリアデザインに必要な情報を、プレゼンボード(A3複数枚)にまとめることができる。          人に伝わるプレゼンテーションを行うことができる。</p>					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に学校行事を行う活動授業。</li> <li>・建築物の設備内容が理解で出来る。</li> <li>・現場に於いて他の計画に対して速やかに判断出来る知識、能力を身に付ける。</li> <li>・建築物、環境に対しての省エネ、環境問題に対して対応できる。</li> </ul>					
成績評価の方法					
1. 作品完成度、プレゼン発表(要望を捉え作品に反映させているか、伝わりやすいプレゼンテーションになっているか)				作品完成度	50%
2. 平常点(主体的な授業参加度)				平常点	30%
3. 学習意欲(学習意欲の有無、授業の取り組む姿勢)				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
案件により、必要に応じてプリント配布					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	オリエンテーション	4	16.	プランニング(3) ・照明プラン	8
2.			17.		
3.	プランの計画(1) 要望のまとめ、問題点を挙げる	4	18.		
4.			19.		
5.	プランニング(1) ・調査、研究	12	20.	プランニング(4) ・パース制作	8
6.	・イメージを決める		21.		
7.	・コンセプトを決める		22.		
8.	・ゾーニング		23.		
9.	・フロアプラン		24.	プレゼンテーション(1) ・プレゼンボード作成	12
10.	・各所デザイン		25.	・パワーポイント制作	
11.	プランニング(2) ・マテリアルプラン	8	26.		
12.			27.		
13.			28.		
14.			29.	プレゼンテーション(2)	4
15.			30.		
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					

シラバス(授業概要)			年度	2020年度	
			科目コード		
授業科目名			授業形態		学科・コース
素材演習Ⅱ (建築材料) ②			演習		インテリアデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	120	4	小沼 勝也 宮沢 千夏子 繁田 和美 藤田 友子
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗、売り場づくりの基本である【商品陳列】から【演出】についての一般的な知識と技術の習得。</li> <li>・ブランドコンセプトや商品特性に基づく演出や陳列を学び、VMDを活かした店舗設計やゾーニングができる。</li> <li>・住宅の照明設計ができるようになる。</li> </ul>					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に学校行事を行う活動授業。</li> <li>・建築物の設備内容が理解出来る。</li> <li>・現場に於いて他の計画に対して速やかに判断出来る知識、能力を身に付ける。</li> <li>・建築物、環境に対しての省エネ、環境問題に対して対応できる。</li> </ul>					
成績評価の方法					
1. 作品完成度、プレゼン発表(要望を捉え作品に反映させているか、伝わりやすいプレゼンテーションになっているか)			課題	50%	
2. 平常点 (主体的な授業参加度)			平常点	30%	
3. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業の取り組む姿勢)			学習意欲	20%	
使用テキスト・教材					
・資料等配布・最終課題材料					
授業内容・授業計画					
	時間数			時間数	
1. VMDの概要、商品分類、VMD分類	2	16. 講義①照明デザイン概要		2	
2. 陳列技術 (IP)の基礎、定数定量	2	17. 講義②ランプと光の特性、照度計測		2	
3. 陳列技術の応用	2	18. 講義③照明デザインの手法		2	
4. 演出技術(VP・PP)の基礎	2	19. 講義④IC試験対策		2	
5. 演出技術の応用	2	20. 実習①照明メーカーの器具説明		2	
6. 店舗の見方、リサーチ方法、ゾーニング	2	21. 講義⑤照明器具の選定方法		2	
7. 店舗リサーチ(フィールドワーク)	2	22. 実習②照明デザイン研修		2	
8. 店舗リサーチ結果共有	2	23. 課題①研修レポート作成		2	
9. 商品演出のポイント	2	24. 講義⑥配灯方法、配灯資料の作成方法		2	
10. ディスプレイプランニング/実習	2	25. 課題②グループワーク(コンセプト、照明イメージ立案)		2	
11. プランニングシートの描き方	2	26. 課題②グループワーク(照明配灯、器具セレクト)		2	
12. 準備&製作/実習	2	27. 課題③住宅の照明デザイン (コンセプト立案)		2	
13. 準備&製作/実習	2	28. 課題③住宅の照明デザイン (照明・器具選定)		2	
14. 課題プレゼン/実習	2	29. 課題③住宅の照明デザイン (資料作成)		2	
15. 講評&まとめ	2	30. プレゼンテーション、講評		2	
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					



シラバス(授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名			授業形態		学科・コース
CAD・CG II (基礎製図) ①			演習		インテリアデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	120	4	小沼 勝也 本野 智美
授業の目的・目標					
<p>図面(平面図・立面図等)からパース(完成予想図)を描けるようになる。  CADでの々な図面の製図ができるようになる。3DCADでパースが描けるようになる。そのことで空間系企業への就職が有利になる。</p>					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に学校行事を行う活動授業。</li> <li>・建築物の設備内容が理解で出来る。</li> <li>・現場に於いて他の計画に対して速やかに判断出来る知識、能力を身に付ける。</li> <li>・建築物、環境に対しての省エネ、環境問題に対して対応できる。</li> </ul>					
成績評価の方法					
1. 作品完成度、プレゼン発表(要望を捉え作品に反映させているか、伝わりやすいプレゼンテーションになっているか)				作品完成度	50%
2. 平常点(主体的な授業参加度)				平常点	30%
3. 学習意欲(学習意欲の有無、授業の取り組む姿勢)				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
プリント、JWCAD、スケッチアップ					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	配布した図面からのパース作成	2	16.	敷地測量図・配置図の製図	2
2.	配布した図面からのパース作成	2	17.	平面図の製図(壁)	2
3.	配布した図面からのパース作成	2	18.	平面図の製図(開口部)	2
4.	配布した図面からのパース作成	2	19.	平面図の製図(設備・什器・他)	2
5.	上記パースの着彩	2	20.	平面図の製図(寸法・文字)	2
6.	上記パースの着彩	2	21.	展開図の製図ー1	2
7.	自分のプラン作成	2	22.	展開図の製図ー2	2
8.	パース用プラン図面作成	2	23.	床伏せ図・天井伏せ図の製図	2
9.	ラインパース作成	2	24.	建具キープラン・建具表の製図	2
10.	ラインパース作成	2	25.	断面図の製図	2
11.	ラインパース作成	2	26.	立面図の製図ー1	2
12.	ラインパース作成	2	27.	立面図の製図ー2	2
13.	ラインパースに着色	2	28.	仕上げ表の製図	2
14.	ラインパースに着色	2	29.	スケッチアップによるパース	2
15.	着色仕上げと作品ボード作成	2	30.	スケッチアップによるパース	2
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名			授業形態		学科・コース
CAD・CG II (基礎製図) ②			演習		インテリアデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	120	4	小沼 勝也 本野 智美
授業の目的・目標					
PCを使用したグラフィックデザイン応用力の習得。専門スキルとの連動として、店舗や住宅とエンドユーザーをつなぐ、コミュニケーションツール(メインビジュアル・ロゴタイプ・パンフレットなど)の制作や指示ができるデザイナー育成を目指す。自分の情報を伝える手段として、就職面接の際に実践的に活用できるポートフォリオの制作手法を身に付ける。					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に学校行事を行う活動授業。</li> <li>・建築物の設備内容が理解出来る。</li> <li>・現場に於いて他の計画に対して速やかに判断出来る知識、能力を身に付ける。</li> <li>・建築物、環境に対しての省エネ、環境問題に対して対応できる。</li> </ul>					
成績評価の方法					
1. 作品完成度、プレゼン発表(要望を捉え作品に反映させているか、伝わりやすいプレゼンテーションになっているか)				作品完成度	50%
2. 平常点 (主体的な授業参加度)				平常点	30%
3. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業の取り組む姿勢)				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
プリント配布					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 課題オリエンテーション					4
2. 講義：レイアウトとは。ビジュアルデザインとは。					4
3. テーマ研究～ビジュアルラフスケッチ					4
4. アイディア決定～撮影等開始					4
5. レイアウト作業～随時チェック					4
6. 中間チェック～ビジュアル及びデザインの方向性の確認					4
7. 修正～デザインのブラッシュアップ					4
8. クラス内プレゼンテーション～講評					4
9. オリエンテーション～ポートフォリオとは					4
10. 作品の情報収集・データ化					4
11. 自分キーワードの抽出～テーマカラー、フォント、レイアウトの方向性決定～台割り					4
12. 各自デザイン作業～随時チェック					4
13. 中間チェック～デザインの方向性の確認					4
14. 修正～デザインのブラッシュアップ					4
15. 最終チェック～修正～完成度を上げる					4
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			デザインアプリケーション I		

シラバス(授業概要)			年度	2020年度		
			科目コード			
			時間数は45分換算			
授業科目名		授業形態	学科・コース			
デザインⅡA(設計製図)①		演習	インテリアデザイン科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	180	6	小杉 陽子 岩崎 京子 小林 良行	
授業の目的・目標						
<p>プランニングに必要なとされる基本的な技術知識を身に付ける。 コンテストのテーマに沿ったオリジナルな空間を、様々な表現方法を使って作製し、他者に自分の考えを説明する方法を学ぶ。</p>						
授業の概要						
<ul style="list-style-type: none"> <li>主に学校行事を行う活動授業。</li> <li>建築物の設備内容が理解で出来る。</li> <li>現場に於いて他の計画に対して速やかに判断出来る知識、能力を身に付ける。</li> <li>建築物、環境に対しての省エネ、環境問題に対して対応できる。</li> </ul>						
成績評価の方法						
1. 課題 提出課題の完成度、厳格遵守、テスト結果					課題	60%
2. 平常点 主体的な授業参加度					平常点	20%
3. 学習意欲 課題に対する取組む姿勢 これらを総合的に評価する。					学習意欲	20%
使用テキスト・教材						
B2プレゼン用ボード1枚(提出は基本データとし、校内で印刷。但し、B2の紙に直接手描きでも可。)						
授業内容・授業計画						
						時間数
1.	コンテストの応募要項についての説明。今年のテーマについての解説をして理解を深める。					2
2.	課題で出される立体を、展開図から作図して作製する。					2
3, 4	作製した立体を条件に合わせて組み合わせながら考える。この際、テーマ、コンセプト、立体の組合せのどこから考え始めてもかまわない。頭にひらめいたことをメモし、いくつかアイデアを出していくようにする。					4
5, 6	エスキースから全体を具現化していく。考えたアイデアの中から一つを選び、内容に肉付けしていく。					4
7, 8	手描きで、すぐに作図できるようにエスキースを詰めていく。					4
9~11	上記で考えたエスキースを製図。まず平面図を作図。この際に、つじつまの合わない部分等がないかを確認しながら、正確な平面図を心掛ける。出来上がった図面は一次提出。内容を添削し、手直しを行う。					6
12~14	次に展開図or断面図の必要なものを作図。この際に、つじつまの合わない部分等がないかを確認しながら、正確な図面を心掛ける。出来上がった図面は一次提出。内容を添削し、手直しを行う。					6
15~22	作図をもとに、他者により考え方を伝えやすい効果的な方法(パース、模型等)を作製。					16
23~26	それぞれに作製した図面、パース・模型等、説明文、エレメント(内装材、カラー)、概算等をプレゼンボードにどのように効果的にレイアウトする。また、イラスト・写真等の演出を使って、総合的に行う。					8
27, 28	データ上で最終確認をし、印刷。確認し、提出用のボードに貼る。応募用紙に必要事項を記入する。					4
29, 30	各自の作品を授業内でプレゼンテーションする。(各自持ち時間5分)					4
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。						

シラバス(授業概要)				年度	2020年度
				科目コード	
授業科目名			授業形態	学科・コース	
デザインⅡA(設計製図)②			演習	インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	180	6	小杉 陽子 岩崎 京子 小林 良行
授業の目的・目標					
インテリアコーディネーター資格取得。インテリアに関する幅広い商品知識を身につけ、住宅、建築・インテリアエレメント等さまざまなフィールドで活躍できる知識の習得。					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>主に学校行事を行う活動授業。</li> <li>建築物の設備内容が理解で出来る。</li> <li>現場に於いて他の計画に対して速やかに判断出来る知識、能力を身に付ける。</li> <li>建築物、環境に対しての省エネ、環境問題に対して対応できる。</li> </ul>					
成績評価の方法					
1. 課題 提出課題の完成度、厳格遵守、テスト結果				課題	60%
2. 平常点 主体的な授業参加度				平常点	20%
3. 学習意欲 課題に対する取組む姿勢 これらを総合的に評価する。				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
インテリアコーディネーター1次試験合格教本上巻・下巻					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	ウィンドウトリートメントの種類	2	16.	内壁の構造、床と床の間	2
2.	カーテンの採寸、ローマンシェード	2	17.	熱と湿気、結露	2
3.	カーペットカーペットの役割と性能、種類	2	18.	換気と通風	2
4.	カーペットに使われる繊維、施工	2	19.	音環境	2
5.	品質表示と防炎規制	2	20.	光環境	2
6.	内部建具、種類と構造、材料	2	21.	過去問題、演習問題	2
7.	外部建具、種類と構造、材料	2	22.	過去問題、演習問題	2
8.	建具金物	2	23.	過去問題、演習問題	2
9.	インテリア建材と住宅設備機器メーカー	2	24.	過去問題、演習問題	2
10.	床仕上げ材の種類	2	25.	過去問題、演習問題	2
11.	壁仕上げ材の種類	2	26.	過去問題、演習問題	2
12.	天井仕上げ材の種類	2	27.	過去問題、演習問題	2
13.	インテリアの構成、床の構法	2	28.	過去問題、演習問題	2
14.	壁の構法	2	29.	模擬試験	2
15.	天井の構法	2	30.	模擬試験	2
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。			材料知識、照明デザインⅠ、材料知識Ⅱ、建築法規 一般構造Ⅱ、建築設備		

シラバス(授業概要)				年度	2020年度
時間数は45分換算				科目コード	
				授業科目名	
デザインⅡA(設計製図)③		演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	180	6	小杉 陽子 岩崎 京子 小林 良行
授業の目的・目標					
基礎製図の応用と表現を身につける→図面として表現できる能力が身につく。インテリアコーディネーター試験の材料の分野に生かされるとともに、実践的にも必要不可欠な素材の知識を身につける。					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に学校行事を行う活動授業。</li> <li>・建築物の設備内容が理解で出来る。</li> <li>・現場に於いて他の計画に対して速やかに判断出来る知識、能力を身に付ける。</li> <li>・建築物、環境に対しての省エネ、環境問題に対して対応できる。</li> </ul>					
成績評価の方法					
1. 課題 提出課題の完成度、厳格遵守、テスト結果				課題	60%
2. 平常点 主体的な授業参加度				平常点	20%
3. 学習意欲 課題に対する取組む姿勢 これらを総合的に評価する。				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
1年次配布プリント、配布プリント、インテリアコーディネーター1次試験合格教本下巻					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 課題1、断面図 1/50					8
2. 課題2、立面図 1/50					6
3. 課題3、かなばかり図 1/30					16
4. 課題4、展開図 1/30					10
5. 和室 展開図、詳細図					10
6. 木材の性質、樹種、用途					2
7. 木質系材料(合板・積層材・木質系パネル・フローリング)					2
8. 建築材料(鋼材・金属・コンクリート・無機質系ボード製品・機能材料)					2
9. 仕上げ材(陶磁器・ガラス・石材)					2
10. 仕上げ材(左官材料・壁紙・プラスチック・畳)					2
11. 仕上げ材(塗料)・1～5のまとめ、小テスト					2
12. カーテン・カーペットの種類(ショップ見学)					4
13. キッチン・サニタリーの種類・素材(設備機器ショールーム見学)					4
その他				関連科目	
※单元ごと演習課題を実施する。					

シラバス(授業概要)			年度	2020年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
デザインⅡB (一般構造) ①			演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通期	必修	120	4	清水 利至 小沼 勝也 中野 年浩 長尾 隆行	
授業の目的・目標						
インテリアデザインに繋がる建築物本体の構造についての知識を得ながら、デザインと建物の安全性について理解する。また、インテリアの材料発注の業務や見積書作成の業務等で必要となる積算について学ぶ。積算は工法・構造・材料等の知識が必要となるので、ほかの授業の復習や強化にもなる。						
授業の概要						
<ul style="list-style-type: none"> <li>主に学校行事を行う活動授業。</li> <li>建築物の設備内容が理解で出来る。</li> <li>現場に於いて他の計画に対して速やかに判断出来る知識、能力を身に付ける。</li> <li>建築物、環境に対しての省エネ、環境問題に対して対応できる。</li> </ul>						
成績評価の方法						
1. 課題 提出課題の完成度、厳守、テスト結果					課題	60%
2. 平常点 主体的な授業参加度					平常点	20%
3. 学習意欲 課題に対する取組む姿勢 これらを総合的に評価する。					学習意欲	20%
使用テキスト・教材						
「図説 やさしい建築一般構造」 今村 仁美、田中 美都						
授業内容・授業計画						
						時間数
1. 鉄骨構造の特徴						2
2. 鋼材について						2
3. 鉄骨構造の接合部						2
4. 鉄骨構造の現場解説						2
5. 鉄筋コンクリート構造の特徴						2
6. コンクリート、鉄筋について						2
7. 鉄筋コンクリート構造の接合部						2
8. 鉄筋コンクリート構造の現場解説						2
9. その他の構造						4
10. 期末テスト						2
11. 積算目的と種類、工事費の構成						4
12. 積算方式・科目の種類、数量の計算 種類・単位						4
13. 土工・地業、鉄筋コンクリート造の積算						2
14. 木造の積算・仕上げ工事の積算						6
15. 雑工事の積算 テスト						2
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。						

シラバス(授業概要)				年度	2020年度
時間数は45分換算				科目コード	
				授業科目名	
デザインⅡB (一般構造)		演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通期	必修	120	4	清水 利至 小沼 勝也 中野 年浩 長尾 隆行
授業の目的・目標					
<p>インテリア(建築)模型の制作を通じて、制作技術そのものが向上するとともに、図面だけでは表現することができない部分を補完し、プレゼンテーションで生かす方法などを習得する。店舗デザイン、素材、家具の歴史を学びながら、空間的ボキャブラリーを増やす。また、モバイル店舗(移動可能店舗)を考えながら、実店舗に興味をもち、世の中を判断し、プラン+模型作製を体験する。</p>					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に学校行事を行う活動授業。</li> <li>・建築物の設備内容が理解で出来る。</li> <li>・現場に於いて他の計画に対して速やかに判断出来る知識、能力を身に付ける。</li> <li>・建築物、環境に対しての省エネ、環境問題に対して対応できる。</li> </ul>					
成績評価の方法					
1. 課題 提出課題の完成度、厳格遵守、テスト結果				課題	60%
2. 平常点 主体的な授業参加度				平常点	20%
3. 学習意欲 課題に対する取り組む姿勢 これらを総合的に評価する。				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
適時、プリント配布					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 課題提示及び条件等の説明					2
2. 表現方法・模型素材					4
3. 企画・構想・JW-CADによる図面化					8
4. プレゼンシート提出・発表					2
5. パーツ制作					2
6. 模型制作					20
7. 模型提出・発表 講評					2
8. 皆、私の自己紹介					4
9. 店舗デザイン歴史					2
10. 素材の歴史					2
11. 家具の歴史					2
12. モバイル店舗について					2
13. 計画					4
14. 製図・模型製作					20
15. 発表					4
その他			関連科目		

シラバス(授業概要)				年度	2020年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
空間デザインA (建築法規)		演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	中野 年浩
授業の目的・目標					
<p>建築行為を行うために遵守しなければならない法令があることを習得します。法令の詳細な内容や具体的な数値等を覚えることを目的とするものではなく、どのような事柄が必要なのかを学習します。</p>					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に学校行事を行う活動授業。</li> <li>・建築物の設備内容が理解で出来る。</li> <li>・現場に於いて他の計画に対して速やかに判断出来る知識、能力を身に付ける。</li> <li>・建築物、環境に対しての省エネ、環境問題に対して対応できる。</li> </ul>					
成績評価の方法					
授業内で実施する課題及び演習等を通しての理解度を合わせて総合的に判断する。				演習課題	85%
				平常点	15%
使用テキスト・教材					
建築基準法関係法令集 世界で一番やさしい建築法規					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	建築関連法令	目的・体系	(概要)		2
2.	建築基準法	申請・特殊建築物			2
3.	都市計画法	道路・用途地域			2
4.	※実例解説1				2
5.	建築基準法	容積率・建ぺい率			2
6.	※演習				2
7.	建築基準法	内装制限			2
8.	同上	防火構造等			2
9.	同上	階段・避難			2
10.	同上	排煙・非常用照明			2
11.	※実例解説2				2
12.	建築基準法	居室の採光・換気			2
13.	※演習				2
14.	※演習				2
15.	その他関連法令				2
その他				関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。					



シラバス(授業概要)				年度	2020年度
時間数は45分換算				科目コード	
				授業科目名	
空間デザインB (建築生産)		演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	小沼 勝也
授業の目的・目標					
外部空間（エクステリア）に関する材料・施工方法等の知識を勉強し、他の授業での課題等に活かすとともに、エクステリア業界等の就職に有利になる。					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に学校行事を行う活動授業。</li> <li>・建築物の設備内容が理解で出来る。</li> <li>・現場に於いて他の計画に対して速やかに判断出来る知識、能力を身に付ける。</li> <li>・建築物、環境に対しての省エネ、環境問題に対して対応できる。</li> </ul>					
成績評価の方法					
学習意欲50%、期末試験50%				期末試験	50%
				学習意欲	50%
使用テキスト・教材					
プリントを配布する					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. プランの進め方について (ゾーニング)					2
2. 3つのスタイルについて					2
3. 材料の種類と工法ー1					2
4. 材料の種類と工法ー2					2
5. スペースの取り方や基本寸法					2
6. 照明計画					2
7. 植栽計画					2
8. 例題：住宅のエクステリア計画					2
9. 平面図の描き方					2
10. パースの描き方					2
11. プレゼンボードの制作					2
12. 現場見学及び作業体験等					2
13. 現場見学及び作業体験等					2
14. 現場見学及び作業体験等					2
15. 現場見学及び作業体験等					2
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2020年度
時間数は45分換算				科目コード	
				授業科目名	
キャリアプランⅡ		講義		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	太田 稔子
授業の目的・目標					
①コミュニケーション能力を高める ②自分らしさの発見とスキルアップ ③ビジネスマナー検定対策 ④就職に必要な書類作成と就職活動の進め方を身につける					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に学校行事を行う活動授業。</li> <li>・建築物の設備内容が理解で出来る。</li> <li>・現場に於いて他の計画に対して速やかに判断出来る知識、能力を身に付ける。</li> <li>・建築物、環境に対しての省エネ、環境問題に対して対応できる。</li> </ul>					
成績評価の方法					
授業態度・課題提出・出席を総合的に判断する。				課 題	
				平常点	60%
				学習意欲	40%
使用テキスト・教材					
独自に作成したワークシート及び就職に対するマナー等資料					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
2.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
3.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
4.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
5.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
6.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
7.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
8.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
9.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
10.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
11.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
12.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
13.	キャリアとは	企業の採用基準	就活の流れと情報収集		2
14.	業種と職種	顕在求人と顕在求人	求人票の見方		2
15.	エントリーシートに備える	履歴書書き方基本			2
その他				関連科目	
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2020年度
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名			授業形態	学科・コース	
産学連携プロジェクトⅡ			演習	インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	岩崎 京子
授業の目的・目標					
地域のプロダクションとして、企画やデザインを担当し、地域貢献をする。企業との連携を通し社会人基礎力を身につける。また、チームで働く力を養う。					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に学校行事を行う活動授業。</li> <li>・建築物の設備内容が理解で出来る。</li> <li>・現場に於いて他の計画に対して速やかに判断出来る知識、能力を身に付ける。</li> <li>・建築物、環境に対しての省エネ、環境問題に対して対応できる。</li> </ul>					
成績評価の方法					
1、平常点（主体的な授業参加度） 2、学習意欲（授業の取り組む姿勢）				平常点	50%
				学習意欲	50%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. SBS制作のディレクターと打ち合わせ			6		
2. デザイン画作成			6		
3. 計画・備品買い出し			10		
4. 設営			8		
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2020年度
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名			授業形態	学科・コース	
産学連携プロジェクトⅢ			演習	インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	岩崎 京子
授業の目的・目標					
外部とのコラボレーションにより就職後に役立つ実践的な授業を行う。					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に学校行事を行う活動授業。</li> <li>・建築物の設備内容が理解で出来る。</li> <li>・現場に於いて他の計画に対して速やかに判断出来る知識、能力を身に付ける。</li> <li>・建築物、環境に対しての省エネ、環境問題に対して対応できる。</li> </ul>					
成績評価の方法					
学習意欲50%、作品50%				学習意欲	50%
				作品	50%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
			時間数	時間数	
1. 調査			6		
2. 計画			6		
3. 設計			14		
4. プレゼン			4		
5.					
6.					
7.					
8.					
9.					
10.					
11.					
12.					
13.					
14.					
15.					
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名		授業形態		学科・コース	
研修旅行		演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	60	2	担当教員
<b>授業の目的・目標</b>					
国外の歴史・文化・生活に触れ、視野を広げる。 日本と海外のグラフィックデザインの違いなどを学ぶ。 海外生活やグループ行動を通し、生活力や協調性を身につける。					
<b>授業の概要</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に学校行事を行う活動授業。</li> <li>・建築物の設備内容が理解で出来る。</li> <li>・現場に於いて他の計画に対して速やかに判断出来る知識、能力を身に付ける。</li> <li>・建築物、環境に対しての省エネ、環境問題に対して対応できる。</li> </ul>					
<b>成績評価の方法</b>					
参加意欲と姿勢。レポートの完成度。				平常点	50%
				レポート	50%
<b>使用テキスト・教材</b>					
<b>授業内容・授業計画</b>					
		時間数			時間数
1.	オリエンテーション①	2	16.		
2.	オリエンテーション②	4	17.		
3.	オリエンテーション③	4	18.		
4.	海外研修	50	19.		
5.			20.		
6.			21.		
7.			22.		
8.			23.		
9.			24.		
10.			25.		
11.			26.		
12.			27.		
13.			28.		
14.			29.		
15.			30.		
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>		